

ミニセミナー「第2回空間デザイン塾」開催のご案内 『欧州のポータブルディスプレイの紹介』

いつもDSA日本空間デザイン協会の活動にご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。
9月27日(金)18時から、ミニセミナー「第2回空間デザイン塾」を開催いたします。
カジュアルなミニセミナーですので、お仕事のお仲間やご友人などをお誘いの上、お気軽にご参加ください。セミナー終了後は、皆様との懇親会も予定しています。

記

開催日時：2013年9月27日(金) 18時～20時半 セミナー・懇親会
開催場所：一般社団法人日本空間デザイン協会事務局事務局
東京都元赤坂1-1-7 赤坂モートサイドビル4F-B
T.03-6721-1981 F.03-6721-1980
講師：犬飼俊介（賛助会員 有限会社パンズ 代表取締役）
会費：1,000円（1ドリンク付き）
申込み：事務局まで、メール(dsa@dsa.or.jp)でお申込みください。
定員になり次第締切させていただきます。



昨今、「持ち回りのイベントキャンペーン」を行う際に、従来の木工やオクタノルムではない、もっと簡単にデザイン性が高いものを求める声や「人件費をいかに減らせるか？」という課題があります。

ペンギン（penguin）は、ヨーロッパ製のスマートなポータブル広告ディスプレイシステムで、世界40ヶ国以上で利用されています。特徴は、デザイン性に優れていること、しかも、現場アルバイトやスタッフだけで、特別な工具を使わず、簡単に組み立て設置できることです。

★ペンギンバナーシステム：

特許を持つカーボンファイバー素材のバナースタンド。
テレビで見かける首相の記者会見バックボードやイベント、ショールーム用の什器として採用されています。

★マルチフレームシステム：

アルミフレームとファブリックプリントを使ったシステムで欧米では、既に多くの店舗で採用されています。日本でも今年から、従来のアクリルやフィルムのコルトンBOXから、このファブリックプリントのシステムが一流ブランドを中心に急増中です。

セミナーを聞くだけでなく、ペンギンというユニークな名前のシステムを実際に組み立ててみるができます。